

福生 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科： 国語 科目： 文学国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（新編 文学国語【大修館書店】）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の文学についての理解を深めつつ、文学のもつ価値への認識を深めるとともに、日本語感覚を磨き、日本語の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の文学に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができるようにする。	我が国の言語が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、日本語の担い手としての自覚をもたせつつ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数		
		話・聞	書 読							
オリエンテーション 日本の言語、文学について ・日本の文学の特徴や歴史について考え、日本文学の世界に親しむことの意義を知る。	【指導事項】 ・教科と科目についての説明、教材や学習方法、評価について理解する。 ・日本の文学を学ぶことの意義について考え、文学に対する興味、関心を高める。 【教材】 プリント			【思考力、判断力、表現力等】 ・わが国の言語文化についての理解を深めるために、小説や古文の世界に親しむことの意義を理解している。B（1）オ 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、わが国の文学に興味・関心を深め、それを理解することについて強く自覚を持つようとしている。				○	1	
そとみとなかみ ・筆者の言う「内側」と「外側」を理解し、その対比関係について考える。 【知識・技能】 ・日本の言語文化の特質や、日本における内と外の考え方について理解する。（2）ア 【思考力、判断力、表現力等】 ・読むことにおいて、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。B（1）イ 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的にかかわる。	【指導事項】 ・言語と文化の関係について、筆者の考えを読み取る。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、言語を豊かにする。 ・明喩や擬人法などの修辞を理解する。 【教材】 教科書、副教材、プロジェクター、プリント等	○	○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。（1）エ ・日本の言語文化の特質や、日本の文化と外国の文化との関係について理解している。（2）ア 【思考力、判断力、表現力等】 ・読むことにおいて、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。B（1）イ 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的にかかわろうとしている。	○			○	○	6
星取り ・基本的な古文の知識を確認するために復習として行う。 【知識・技能】 ・日本の言語文化に特徴的な表現や変化を理解し、語感を磨く。（1）ウ ・古文を読むために必要な言語表記の知識や言葉の意味の理解を深める。（2）ウエ 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典文学における笑い話を読み取り、内容を理解する。B（1）イウ 【学びに向かう力、人間性等】 ・説明に基づいて参考書に積極的に取り組み、言語文化への理解を深める。	【指導事項】 ・言葉の単位を理解し、日本語文法について正しく把握する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・古文独特の感性を理解する。 ・短い話の中でどのような教訓を訓示しているのか読み取る。 【教材】 副教材、プロジェクター、プリント等		○	【知識・技能】 ・日本の言語文化に特徴的な表現や変化を理解し、語感を磨く。（1）ウ ・本文中に登場するわが国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。（1）ウ ・古文を読むために必要な言語表記の知識や言葉の意味の理解を深める。（2）ウエ 【思考力、判断力、表現力等】 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に把握し、作品に表れているもの見方や考え方を捉えて内容を解釈している。B（1）アイ 【学びに向かう力、人間性等】 ・説明に基づいて参考書に積極的に取り組み、言語文化への理解を深める。	○			○	○	6
1 学期 定期考査					○	○	○		1	
晴れた空の下で ・語句の働きに注目して読む。 ・本文描写や言葉遣いから「わし」の心情や性格を捉える。 【知識・技能】 ・日本の言語文化の特質や、年を取ることについて考える。（2）ア 【思考力、判断力、表現力等】 ・読むことにおいて、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。B（1）イ 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的にかかわる。	【指導事項】 ・言語と文化の関係について、筆者の考えを読み取る。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、言語を豊かにする。 ・明喩や擬人法などの修辞を理解する。 【教材】 教科書、副教材、プロジェクター、プリント等	○	○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。（1）エ ・日本の言語文化の特質や、日本の文化と外国の文化との関係について理解している。（2）ア 【思考力、判断力、表現力等】 ・読むことにおいて、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。B（1）イ 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的にかかわろうとしている。	○			○	○	6
児の飴食ひたること ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 【知識及び技能】 ・本文中に登場するわが国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。（1）ウ ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。（2）ウエ 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。B（1）アイ ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に把握し、作品に表れているもの見方や考え方を捉えて内容を解釈する。B（1）アイ 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。	【指導事項】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に把握する。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文法のきまりを理解する。 【教材】 教科書、副教材、プロジェクター、プリント等	○		【知識及び技能】 ・本文中に登場するわが国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。（1）ウ ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。（2）ウエ 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。B（1）アイ ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に把握し、作品に表れているもの見方や考え方を捉えて内容を解釈している。B（1）アイ 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合うようとしている。	○			○	○	6
定期考査					○	○	○		1	

